PRESS RELEASE

2026年10月29日
サンデン株式会社

サンデン欧州エリア、グループ初となる ESRSの考え方を取り入れたサステナビリティレポートを発行

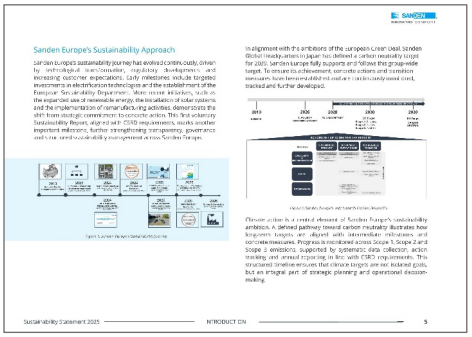
－ 欧州で報告基盤を整備し、グループ全体の情報開示と経営への活用を推進 －

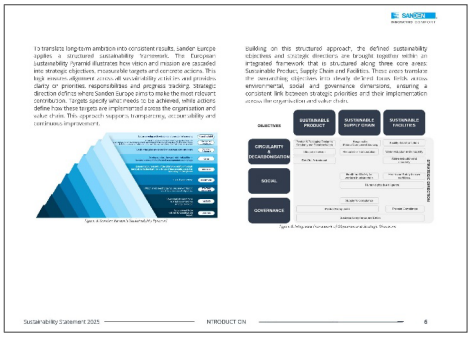
サンデン株式会社（本社：群馬県伊勢崎市、以下「当社」）は、欧州エリアを統括するSanden International Europe GmbH（以下「SIE」）が、「Sustainability Statement 2025」を発行したことをお知らせします。

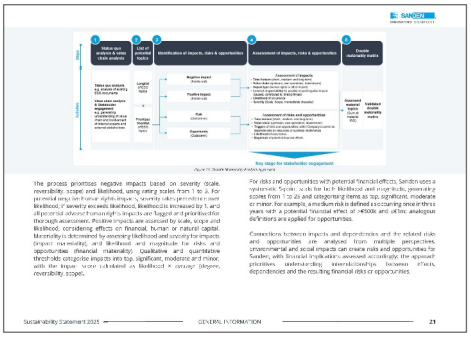
本レポートは、サンデングループとして初めて、CSRD（欧州企業サステナビリティ報告指令）を意識した地域別のサステナビリティレポートとして作成したものです。レポートの作成にあたっては、ESRS（欧州サステナビリティ報告基準）の考え方を取り入れています。2025年1月1日から12月31日までの欧州事業を対象に、環境・社会・ガバナンス（ESG）に関する重要課題、取り組みおよび実績を体系的に開示しています。

今回のレポート作成を通じて、SIEは、重要課題の評価から、データの収集・確認、社内承認までの役割とプロセスを整理しました。また、ESRSの内容を参照し、指標や算定方法を整理することで、継続的に実績を把握できる報告基盤を整備しました。

[参考リンク] SIE サステナビリティ: https://www.sanden-europe.com/sustainability/
※ページ下部「Sanden Europe's Sustainability Report」よりダウンロードいただけます。







Sustainability Statement 2025

● ESRSの考え方を取り入れた情報収集・報告の仕組みを構築

CSRDは、対象となる企業に対し、ESRSに基づくサステナビリティ情報の開示を求める制度です。

本レポートでは、EFRAG（欧州財務報告諮問グループ）が公表したESRSの内容を参照し、情報収集・報告の仕組みを構築しています。

● 欧州におけるサステナビリティ情報開示の高度化に向けた自主的な取り組み

サンデン欧州エリアでは、SIE、フランスのSanden Manufacturing Europe S.A.S.（SME）およびポーランドのSanden Manufacturing Poland sp. z o.o.（SMP）の3社を対象に、欧州の制度動向やステークホルダーからの情報開示要請を見据えた取り組みを進めています。

今回のレポートは、ESRSの考え方を取り入れ、サステナビリティ情報の収集・報告に関する実務経験の蓄積を目的として自主的に作成したものです。なお、本レポートは任意開示として作成しており、第三者保証は受けていません。

今後は、改訂ESRSをはじめとする欧州の制度動向を踏まえ、報告プロセス、データ品質および社内ガバナンスのさらなる強化を進めます。

● ダブルマテリアリティの考え方に基づき重要課題を特定

本レポートでは、企業活動が人や環境に与える影響と、サステナビリティ課題が財務や事業に及ぼす影響の双方から重要性を評価する「ダブルマテリアリティ」の考え方を採用しています。

社内関係部門へのインタビューやワークショップに加え、顧客やサプライヤーの意見を反映し、気候変動、循環経済、人権、企業倫理などの重要課題を特定しました。併せて、それぞれの対応状況を整理し、欧州事業における優先事項を明確にしています。

● 製品・サプライチェーン・事業拠点の取り組みと実績を開示

SIEは、「持続可能な製品」「持続可能なサプライチェーン」「持続可能な事業拠点」「社会的責任」「ガバナンス」の5つを重点領域とし、環境面では脱炭素化と資源循環を中心に取り組んでいます。

本レポートでは、温室効果ガス排出量について、自社による直接排出（Scope 1）、購入した電力などの使用に伴う間接排出（Scope 2）、サプライチェーンなどにおけるその他の間接排出（Scope 3）を算定しています。Scope 3はカテゴリー1～7および10～12を算定対象とし、算定には二次データおよび一部推計値を使用しています。併せて、エネルギー使用量、再生可能エネルギーの活用状況、水資源および廃棄物に関する実績を掲載しています。

製品分野では、電動コンプレッサーやヒートポンプシステムなど、モビリティの電動化とエネルギー効率の向上を支える技術開発を紹介しています。また、労働安全衛生、人権、内部通報制度、サプライヤー管理の仕組みについても開示しています。

今後は、気候変動が事業に及ぼす影響の分析を深めるとともに、Scope 3の算定における一次データの活用を拡大するなど、開示情報の精度向上に取り組みます。

● 欧州責任者からのコメント

■ Maria Wünsch-Guaraldi

（執行役員　欧州事業統括）

サステナビリティは、サンデン欧州エリアが長期的な価値を生み出していくための重要な取り組みです。今回のレポート発行を、透明性を高め、ステークホルダーの皆様との信頼を深めるための一歩としていきます。

■ Anna-Lena Pernkopf

（欧州サステナビリティ責任者）

本レポートは、部門や拠点を越えた協働によって実現しました。ESRSを参照してレポートを作成した経験を生かし、今後もサステナビリティ活動と情報開示の充実を図り、グループ全体の取り組みに貢献していきます。

● 「SHIFT2028」の実行と持続的な企業価値向上に向けて

当社は、サステナビリティを中期経営計画「SHIFT2028」の実行を支える経営基盤の一つと位置付けています。今後は、欧州で構築したサステナビリティ情報の収集・確認・承認プロセスをグループ全体へ展開するとともに、サステナビリティに関するリスクと機会を、事業計画や施策の進捗管理、経営判断に活用していきます。

また、顧客からのESG要請への対応力を高め、株主・投資家をはじめとするステークホルダーとの対話を深めながら、持続的な企業価値の向上につなげていきます。

補足：CSRD（Corporate Sustainability Reporting Directive）

EU（欧州連合）が定めた企業サステナビリティ報告制度です。企業に対し、気候変動、人権、労働環境、企業倫理などのサステナビリティに関する情報開示を求めるもので、投資家やステークホルダーが企業のリスクや成長機会を適切に評価できるようにすることを目的としています。

本件に関するお問い合わせ
サンデン株式会社　総務本部　広報・IR 担当
Tel：03-5828-5582　Email：sdhd.prcsr.jp@g-sanden.com　Web：https://www.sanden.co.jp/